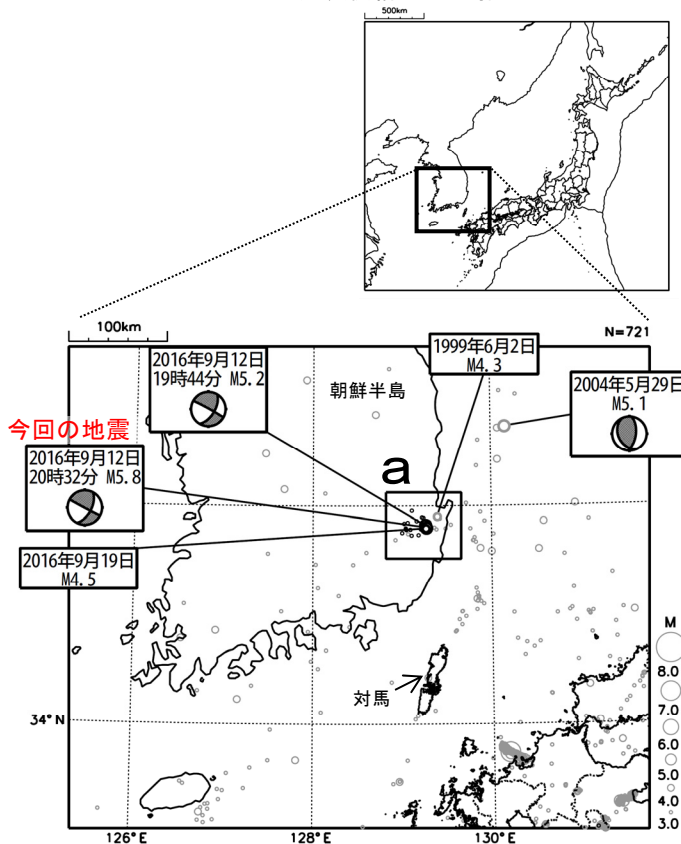


9月12日 朝鮮半島南部の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2016年9月30日、
深さ0～60km、 $M \geq 3.0$)

9月1日以降の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解

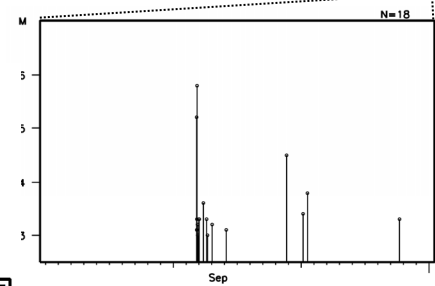
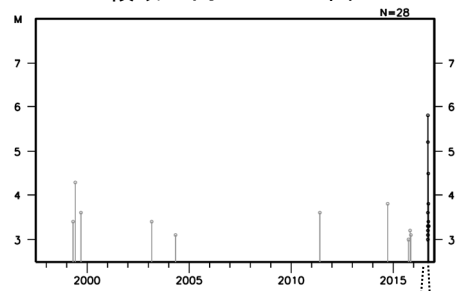


2016年9月12日20時32分に朝鮮半島南部の深さ18km(CMT解による)でM5.8の地震（日本国内で最大震度3）が発生した。この地震により、長崎県対馬市で震度3を観測したほか、九州地方から中国地方にかけて震度2～1を観測した。この地震は、地殻内で発生した。発震機構（CMT解）は、東北東－西南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。この地震の発生前にもほぼ同じ場所でM5.2の地震（日本国内で最大震度2）が発生するなど、まとまった地震活動がみられた。

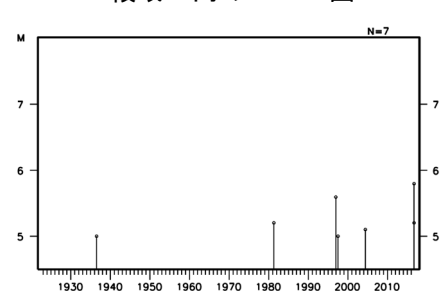
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M5.0を超える地震が今回初めて発生した。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M5.0以上の地震が数回発生していたが、その中でも、今回の地震が最大規模の地震（M5.8）であった。

領域a内のM-T図



領域b内のM-T図



（この期間は地震の検知能力が低い）

震央分布図

(1923年1月1日～2016年9月30日、
深さ0～60km、 $M \geq 5.0$)

